

平成21年度  
指定管理者 公募施設

審 査 講 評

豊田市指定管理者選定委員会

## 1 はじめに

本市は、平成22年4月から指定管理者公募施設の管理運営を行う指定管理者を選定するにあたり、豊田市指定管理者選定委員会が選定審査を行う。

## 2 選定審査の概要

### (1) 選定方式

指定管理料の価格のみならず、サービスの質の向上に関する審査を要することから、組織体制及び人材確保に関すること、リスク分担能力に関すること、各種提案内容に関すること等を総合的に評価するため『公募型プロポーザル方式』により選定する。

### (2) 選定審査の方法

選定審査は、書類審査及びプレゼンテーション審査により行う。

書類審査については、指定申請書をはじめとして募集要項等で提出を義務付ける書類により、応募資格その他適切な業務執行の確保状況に関する審査を実施する。

プレゼンテーション審査では、事業計画書等に記載する提案事項等に関して応募団体に具体的説明を求め、質疑応答等を実施した上で、審査判定を行う。

### (3) 評価方法

#### ○評価構成要素

項目		配点	備考
サービス 得点	標準点	100点	応募資格を満たし、かつ仕様書に示す管理運営業務の適切な遂行が確保されると認めた場合に付与する。
	加算点	0.0～50.0点	市が設定する基準によりプレゼンテーション審査等を経て付与する。
価格得点		66.7 ～100.0点	次の計算式により算出する。 $\frac{\text{指定管理料見積金額}}{\text{市予定価格}} \times 100$ <p>※小数点以下第2位四捨五入</p> ただし、指定管理料見積金額が市予定価格の3分の2以下である場合は一律66.7点として得点化する。 なお、市予定価格を上回る場合には失格とする。

#### ○総合得点の算出

指定管理者の選定を決定する『総合得点』は、以下の計算式により算出する。

総合得点 = $\frac{\text{サービス得点 (標準点 + 加算点)}}{\text{価格得点}}$
--

※小数点以下第3位四捨五入

### 3 対象施設

本会は、以下の2施設に係る選定審査を実施した。

- ・井上公園（水泳場）
- ・豊田市西部体育館及び逢妻運動広場

### 4 審査日程

日程	内容
平成21年10月22日（木）	募集締切日 価格審査
平成21年10月22日（木）～29日（木）	資格審査 業務執行体制等基礎審査
平成21年11月10日（火）	プレゼンテーション審査

### 5 審査講評

#### (1) プレゼンテーション審査委員の構成

豊田市指定管理者選定委員会のプレゼンテーション審査委員の構成は以下のとおりである。

なお、加算点は各委員の得点に下記ウェイト率を乗じて合算した数値とした。

役職	氏名	所属等	ウェイト	
会長	村林 聖子	愛知学泉大学准教授	25%	
副会長	栗濱 竜一郎	愛知大学准教授		
委員	幸村 的美	豊田市教育委員会調整監	所管部局 20%	その他 10%
	水野 孝之	豊田市社会部調整監		
	末継 誠之	豊田市子ども部調整監		
	岩月 明美	豊田市建設部調整監		

プレゼンテーション審査は、選定審査基準書に示している評価項目及び指標それぞれについて、各委員がAAA、AA、A、B、Cの5段階評価を行った。

なお、説明内容が標準的であり加算には及ばないものはCとして評価した。

全体の加算点は、上記のとおり各委員の得点にウェイト率を乗じて合算したものとした。

#### (2) 審査講評

##### ①井上公園（水泳場）

応募団体	価格得点	標準点	加算点	総合得点
ホームックス（株）	66.7	100	14.4	1.72
A団体	66.7	100	13.9	1.71

- ・ 指定管理者として内定したホームックス（株）については、同類施設の管理運営実績を元に、当該施設を十分に把握した各種提案が示された。また、課題懸案事項となっている窓口業務のあり方についても、利用者の立場や他団体との今後の協議調整を踏まえて具体的な提案が見られるなどの点で高く評価された。
- ・ A団体については、多数のプール施設の管理運営実績を有しており、そのノウハウを活かした各種提案がなされていた。また、自主事業の提案についても、現在当該施設で実施されているプール教室のメニューを元に質の高いメニューを提案した点が印象的であったが、一定の評価に留まった。

## ②豊田市西部体育館及び逢妻運動広場

応募団体	価格得点	標準点	加算点	総合得点
(株) 技研サービス	66.7	100	9.0	1.63
B団体	66.7	100	5.1	1.58
C団体	83.1	100	15.3	1.39
D団体	84.5	100	7.9	1.28

- ・ 指定管理者として内定した(株)技研サービスについては、スタンプラリーの実施により当該施設のみならず、他の市内施設への来場機会を創出するなどの提案が印象的であった。また、地域・地元密着を意識した提案については高い評価となっており、総合得点で内定に至った。
- ・ B団体は、マルチタスク方式の導入により余剰を生まない効率的な運用の提案や編集に携わっている情報誌を活用した施設のPRの提案などが特徴的であった。また、芝生広場の活用に市民参加を取り入れるなどの提案は一定の評価を受けたが、内定には至らなかった。
- ・ C団体は、現在の当該施設の指定管理者としての実績を元に、より適正な人員配置等の提案がされた。また、自主事業については、地元スポーツクラブとの連携のほか、各種教室や講座、イベント等の企画により、より多くの参加者に来ていただくとする姿勢は高い評価につながったものの、総合得点で内定には至らなかった。
- ・ D団体は、自社で展開するスポーツクラブ・スイミングスクール等の運営実績があり、事故の未然防止並びに事故のない施設管理という目標を元に、スタッフの個人目標の設定や利用者アンケートの実施などの提案があった。また、携帯電話の回収等により利用者増を図るなど特徴的な提案が見られ、一定の評価を受けたが、内定には至らなかった。

以上